

## 【学校教育目標】

だれもが、安心・自信・熱意にあふれ、主体的に活動し合える場  
～学び合い、高め合い、思い合い、つながり合い～

## 【めざす学校の姿】 ～子どもも大人も～

学び合う (学力) ～よりよい対話を 言葉で学び合おう～  
 高まり合う (集団) ～仲間との協働 共に成長しよう～  
 思い合う (人権) ～誰一人取り残さない だれをも大切にしよう～  
 つながり合う (組織) ～あらゆるつながり 支えに感謝しよう～

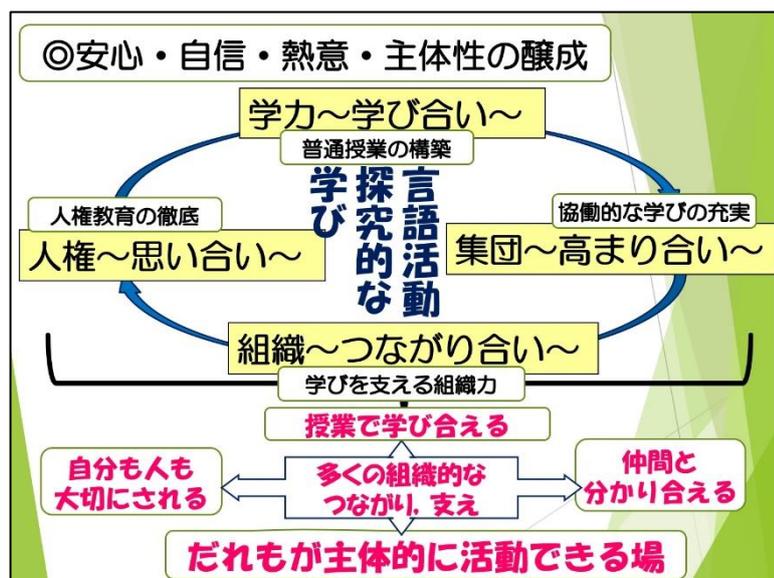
## 【めざす5つの学校経営の柱～自信と安心・熱意、そして主体性へ～】

- ①「わかる」「できる」「楽しい」「やりたい」「対話」があふれる普通授業の構築
- ②認め合い、高まり合える集団を育成する協働的な学びの充実
- ③誰一人取り残さない理念を育てる人権教育の徹底
- ④自他を大切にする規範意識、公共心の涵養
- ⑤校内、地域、保護者、校種間等、あらゆる場での情報共有力と活用力・組織力の向上

## 【目標達成のための取組】

### ○確かな学力の育成

校内研究を「核」とし、普通授業の充実を図る  
 コミュニケーション能力、探究力等を柱とし、各学年でつけたい資質能力を明確にしたカリキュラムマネジメントを作成し、「分かる」「できる」「楽しい」「やりたい」「対話」が実感できる学びがつながるように各分掌と有機的に連携して取り組む。



### ○豊かな心の育成

誰一人取り残さないという人権感覚のもと、普通授業の充実を図る

人権教育の視点を重視したカリキュラムマネジメントを作成し、認め合い高まり合える集団を育てられるよう、各分掌と有機的に連携して取り組む。

### ○健やかな心と体の育成

体を動かすことや安全への意識化、行動化を目指す普通授業の充実を図る

体を動かす楽しさや自身の安全を守る知識を身に付け、適切に行動できる集団を育てられるよう、各分掌と有機的に連携して取り組む。

### ○子どもの学びを支える組織力

大人の言動そのものが教育である

全教職員が、すべての子どもたちを誠実に、愛情を持ち育て、誰一人取り残さないという大原則のもと、学校経営の主体者として細かくていねいな情報共有やコミュニケーションを図り、自己研鑽、自己変革に努めるとともに、お互いをリスペクトしながら全員が有機的に連携する。